

個別事業説明書【PR版】

警 察 本 部

1 交通安全施設等整備事業費

令和7年度12月補正予算（案）
予算額 28,976千円

人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト水準になるといった状況等を鑑み、交通事故のリスクから県民の命を守り、安全・安心な生活基盤を構築するために必要不可欠な交通安全施設(信号灯器LED化)の整備を加速化させる。

お問い合わせ先
警察本部警務部
会計課
(代表 089-934-0110)

| | | | | |
|----|-----|-----------------------|-----|-----------|
| 指標 | 施策 | 33 交通安全対策の推進 | 現状値 | 52人（R6年） |
| | KGI | 交通事故死者数 | 目標値 | 33人（R8年） |
| 指標 | 細施策 | 33-3 県民を交通事故から守る活動の推進 | 現状値 | 462人（R6年） |
| | KGI | 交通事故の重傷者数 | 目標値 | 400人（R8年） |

事業イメージ

KPI 信号制御機の計画更新達成率

現状値 100%（R6年）

目標値 100%（R8年）

現 状

■ 令和7年10月末時点では、人口10万人当たりの交通事故死者数 **全国ワースト3位**

■ 令和6年中の、全交通事故発生件数の**約18%**が信号交差点において発生

➡ 信号交差点の安全性向上が重要！！

➡ 信号灯器のLED化により、交通事故リスクが**60%減少**(警察庁調査)

課 題

■ 信号灯器の計画的なLED化により、交通事故リスクの低減化が必要

■ 信号灯器用電球の生産終了（令和9年度末）が発表されるという不測の事態により、早急なLED化更新が必要となった。

➡ 信号灯器のLED化の加速化により、交通事故抑止対策を進める

取 組

1 交通事故多発地点におけるLED化更新

2 Velo-city2027時のイベント等実施路線のLED化更新

LED化のメリット

■ **消費電力**が、電球に比べ約6分の1

➡ **災害・停電時の予備バッテリー**（信号機電源付加装置）の**持続時間が増加**

➡ **電気代がおよそ90%削減**

■ **寿命**が、電球に比べ大幅に長い（電球式は約2年に対し、LED式は10年以上）

事業概要

1 事業費

車両用灯器 18,672千円

歩行者用灯器 10,304千円

2 事業内容

(1) 交通事故多発地点におけるLED化更新

県内の交通事故多発地点のうち、信号灯器更新されていない路線について、交通事故抑止対策のためのLED化を進める。

【参考】交通事故リスク低減関係

にしび

西日の疑似点灯の防止効果



電球式

LED式

(2) Velo-city2027時のイベント等実施路線のLED化更新

松山市内中心部において、数千人規模の自転車パレードが予定されており、想定される路線における交通事故抑止対策のためLED化を図る。



